

「ロシアのウクライナ軍事侵攻に深く憂慮し平和を切に求める祈り」

**主よ、平和をわたしたちにお授けください。**

**わたしたちすべての業を成し遂げてくださるのはあなたです。イザヤ書 26 章 12 節**

**わたしたちの先祖はあなたに依り頼み**

**依り頼んで、救われて来た。**

**助けを求めてあなたに叫び、救い出され**

**あなたに依り頼んで、裏切られたことはない。 詩編 22 篇 5 節～6 節**

平和の主よ、私たちは、ロシアによるウクライナ軍事侵攻に深い憤りと悲しみを覚え、この軍事行為が一刻も早く終わり、かの地に住む人々に平和が戻ることを切に祈り求めます。

ウクライナの独立国家の主権を踏みにじり、ロシア自ら署名したミンスク合意を破棄して、多くの市民の命を奪い、人々が大切に耕してきた地を血で染める軍事的暴挙が、あなたの正義によって正されますように。

今、この時、戦争という暴力により、命を脅かされ、恐怖の中に逃げ惑う人々のかたわらにあなたがいますし、一人ひとりの命を御手の中にお守りください。

ロシアの指導者、ウクライナの指導者、そして、世界の為政者たちが戦争という暴力による解決ではなく、対話による解決の道へと導かれますように。そして、戦地に立たされた兵士たちが、無益な争いから解放されますように。

主よ、平和のために声を上げる人々の、叫びと祈りを、どうぞ受け止めてください。

平和を願う人々の願いと、祈りが連帯し、その声があまねく響きますように。

そして、あなたの平和が実現しますように。

日本、そして、世界中の国々が、ウクライナとロシアとの両国の平和のために力を尽くすことができますように。

私たちは、一日も早くウクライナに平和が戻ることを祈り願い、心を合わせて祈ります。

どうか、私たち一人ひとりの祈りと平和を願う心を強めてください。

主よ、私たちを、イエス・キリストが成し遂げられた和解のつとめに仕える者、あなたの平和の道具としてください。

平和の主、イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

2022年2月25日

日本バプテスト連盟理事会

理事長 加藤 誠

常務理事 中田義直